



平成30年度学校評価の結果から

12月に行った学校評価（生徒・保護者）の結果についてお知らせします。学校評価は本年度の教育活動を振り返り、次年度の改善に生かすことを目的に行っています。保護者の皆様にお知らせすることで、御意見をいただきながら、さらに良い教育活動を目指してまいります。

重点1 自ら進んで学び、確かな学力のある生徒の育成

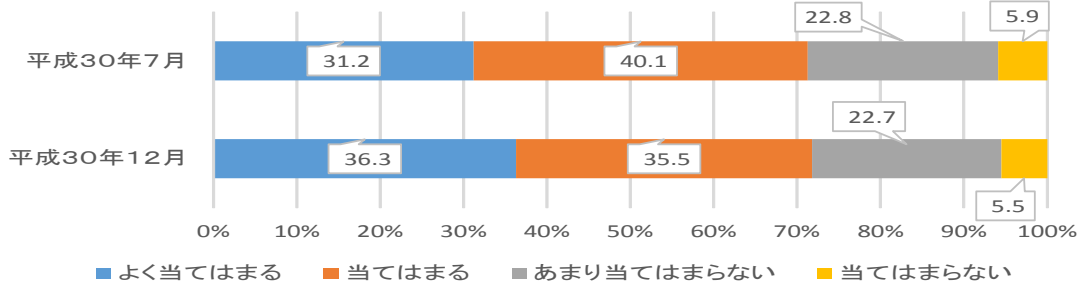
【学校として本年度重点的に取り組んだこと】

- 国語、社会、数学、理科、英語、体育におけるチームティーチング、朝や昼の自習を活用した少人数指導など、個別的な指導を多くを取り入れました。
- 小グループでの活動による話し合いや協働的な学習を、積極的に取り入れました。
- 本時の授業の目標である「付けたい力」を、授業始めに生徒と共有しました。授業が終わったときに自分がどのような姿になっているべきかを明確にすることで、学習への目的意識を持たせ、自主的な学習態度への変容を狙いました。
- 学級や教科の担任が、提出されたノートをチェックすることで、家庭学習の質の向上と習慣化に取り組みました。

【本年度の結果と来年度に向けて】

「お子さんは家庭学習によく取り組んでいる」では、「よく当てはまる」+「やや当てはまる」が70%を超えています。家庭でもしっかりと学習に取り組んでいることがわかりました。また、「あまり当てはまらない」+「当てはまらない」生徒が約30%います。家庭学習の仕方や内容を指導していきながら、学力の定着と学習意欲の向上を図っていきます。

お子さんは家庭学習によく取り組んでいると思いますか（保護者）



重点2 心豊かで思いやりのある生徒の育成

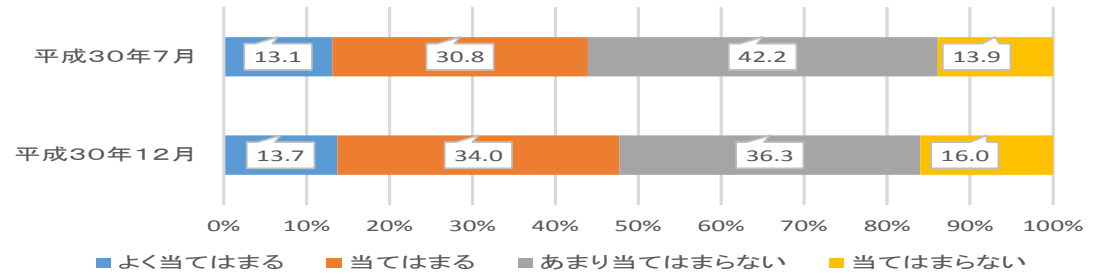
【学校として本年度重点的に取り組んだこと】

- 道徳の時間の確保と「考え、議論する道徳」の研修に取り組みました。
- 「相手に伝わるあいさつ」を合い言葉に、あいさつの活性化を目指しました。「朝のあいさつ運動」では、毎回100名以上の生徒が自主的に参加していました。
- 一部一善活動として部活動毎に地域のゴミ拾いを行いました。

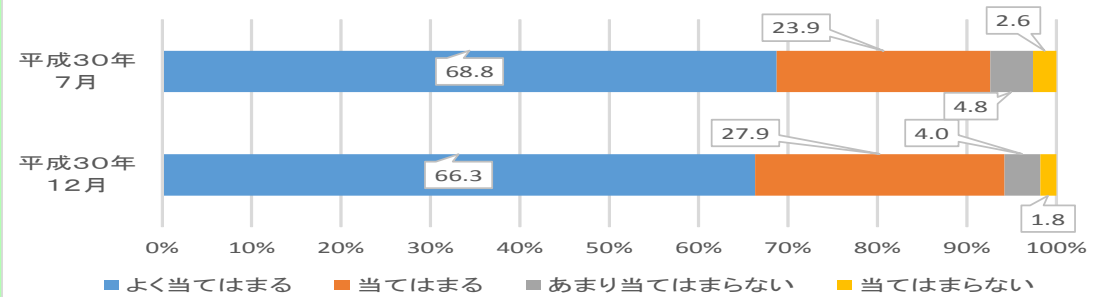
【本年度の結果と来年度に向けて】

「自分から働こうとしている」の問いには、「当てはまる」+「やや当てはまる」と答えた生徒は、12月は約47%となりました。「よいと思ったこと」や「やった方がよい」と思うことを行動に移せる生徒が増えてきました。自分の意思で行動することが、積極さや自律心育てることにつながっていきます。今後も心を育てる場の設定や、自分で決めて自分の意思で行動する場の設定を重視していききたいと思います。

お子さんはご家庭で自分から手伝いをするなど働こうとしていますか（保護者）



友達と仲良く助け合いながら活動している（生徒回答）



重点3 活力あるたくましい生徒の育成

【学校として本年度に取り組んだこと】

- 毎朝、学校近くの交差点や正門前で、交通安全指導を行いました。
- 各学級で給食完食をめざし、食や健康に関する指導を継続して行いました。
- 部活動では週に1回の休部日(月曜日)と、土・日のどちらかを休養日として、生徒の身体的な負担を軽減しました。また、練習の内容や指導法を工夫し、練習の効率アップと大会や練習試合数の精選を行いました。
- 性教育、情報モラル等の学習で外部講師を招き、専門的な根拠をもとに講演会を行いました。

【本年度の結果と来年度に向けて】

「お子さんは好き嫌いなく食事をとっています」の問いには、「よく当てはまる」、「当てはまる」の回答を約70%の保護者からいただきましたが、約30%は、偏食があると答えています。心身の健やかな成長には、栄養のバランスも大切です。心身が健康であることが、「やる気」や「頑張り」につながり、困難を乗り越えられる強い意志を育みます。規則正しい生活習慣を確立し、充実した学校生活が送れるよう、御家庭でも御指導いただけますようお願いいたします。

お子さんは好き嫌いなく食事をとっていますか（保護者）

